

徳永しんいち



府政レポート vol.19 2022.新年号

東成区神路1丁目2番10号 発行責任者：徳永慎市

2021年9月定例府議会・総務常任委員会で
自民党を代表して、吉村知事はじめ担当部局に
次の点について 質問 しました。



主な質問項目

- ①関西経済圏と副首都ビジョン
- ②万博を契機に大阪・関西の中小企業のビジネスチャンスの拡大
- ③感染防止認証ゴールドステッカー及びワクチン検査パッケージについて

関西経済圏と副首都ビジョン

徳永 副首都ビジョンは、関西という大きな枠組みの中で考えていくべきだと考えますが、知事はどのような視点でこの副首都ビジョンをバージョンアップしようと考えておられるのか？お聞かせください。

吉村知事 「東京・首都圏」と伍していくためには、府市一体を核に、京阪神、さらに関西を一体で捉え、「大阪・副首都圏」

として成長させていくことが重要だ。

こうした観点から、大阪・関西の成長を支える広域行政をどのようにつくりていくのか、有識者も交えて検討を進めるよう副首都推進局に指示しているところです。そのうえで、これまでと同様、関西広域連合や近隣府県との連携も含め、必要な取り組みを行っていきます。

万博を契機に大阪・関西の中小企業のビジネスチャンスの拡大

徳永 万博を契機に、大阪・関西の中小企業の万博への参画の配慮を国や協会に求めていくべきと考えますが？いかがお考えですか。

吉村知事 大阪・関西万博は、中小企業の持つ高い技術力やアイデアを国内外に広く発信し、ビジネスチャンスの拡大を図る絶好の機会であり、またその効果を万博後の大阪・関西の成長につなげていくことが必要だ。

博覧会協会では、万博開催における調達ルールづくりに向けた検討を進めており、この中で中小企業への配慮や地元産品の活用などが位置付けられるよう働きかける。また国に対しても、現在検討中の万博関連のソフト事業・規制改革に関する要望において、中小企業の参加促進について働きかけて

いく。

徳永 中小企業の情報発信やビジネス拡大に向けては、バーチャルパビリオンの活用も必要と考えますが？いかがですか。

吉村知事 バーチャル空間上の大阪パビリオンは、多数の市民が参加可能で、世界に向けて情報発信できるツールでもあることから、中小企業の方に活用いただくことも含めて検討を進めていく。



大阪・関西万博の夕景の鳥瞰図

大阪公立大学新キャンパスの隣接地開発で

サウンディング型市場調査

大阪城東の「森之宮北地区」のまちづくりの一環で

「大学とともに成長する街」22年3月下旬に結果公表

公立大学法人大阪と大阪市および大阪府は、2025年度に開所する大阪公立大学都心メインキャンパスの隣接地整備で、サウンディング型市場調査を実施します。すでに2021年11月11日までに参加申し込み、そして11月15日に現地見学会を開催。12月23~24日に提案書を受け付け、2022年1月中旬~2月下旬に対話をを行い、3月下旬に結果を公表するスケジュールが組まれています。

大阪公立大学は、大阪城の東に位置する「森之宮北地区」の地区計画「A地区」の「1期区域」に、メインキャンパスとなる森之宮学舎を建設中です。今回のサウンディングの対象は、学舎完成後の2025年度から利用可能になる「1.5期区域」約4,200m²。このほか任意で、大阪市高速電気軌道（大阪メトロ）が所有する「B地区」約2万m²、市有地の「C地区」約1万2,200m²も提案の対象にできます。

提案に求めるのは、まちづくりの基本方針に定めたコンセプト「大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ」を具現化する施設。大学施設や歩行者デッキの整備



大阪公立大学がメディア懇親会開催 森之宮キャンパスの予想図。
画面手前が大阪城公園駅となる（公立大学法人大阪 提供）

も含みます。地区計画では「A地区」に大学研究と連携する機能を中心に業務、商業、宿泊や居住・健康医療機能、「C地区」では第二寝屋川との親水性確保と業務・商業機能のそれぞれ配備が挙げられています。

必須提案のA地区1.5期は、事業者が公立大学法人大阪と事業用定期借地契約を結ぶことを想定しています。事業スキームや条件、借地料と事業期間の提案も求めています。

●表面から、定例府議会での質問のつづき

感染防止認証ゴールドステッカー及びワクチン・検査パッケージについて

徳永 感染防止認証ゴールドステッカーについて、これまでどのように審査を進めてこられましたか？

危機管理室副理事 ゴールドステッカーについては、国が創設した第三者認証制度として、感染症に強い強靭な社会・経済の形成を図っていくため、飲食店における感染防止対策のさらなる促進や府民が安心して利用できる環境整備を目的に、2021年6月16日より制度を開始したところです。

ゴールドステッカーの審査については、43項目の認証基準を満たした店舗から申請をいただいた後、書類審査を行い、その後に現地確認を実施したうえで、認証することにしている。

制度開始1カ月で想定を大きく上回る約3万5,000店の申請があり、審査に時間を要することになったため、書類審査、現地確認ともに体制を拡充し、最大680人体制で審査を行ってきた。また、書類審査における不備が多かったことから、店舗へ是正依頼を行い、再提出をいただくなど時間を要していたが、掲示物などは書類審査、現地での確認とするなど、適宜審査方法の改善等を実施してきた。

その結果、現在申請件数約4万9,000件に対して、認証件

数が約4万5,000件と9割を超える標準的な処理期間は2週間程度となっている。今後も引き続き審査が迅速かつ遠隔に進むよう、しっかりと取り組んでいく。

徳永 ワクチン・検査パッケージについて、今後どのような取り組みを行っていくのですか？

危機管理室副理事 国では、感染対策と日常生活の回復の両立に向けて、将来の「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」などのものとおいても、感染リスクを低減させることにより、飲食やイベント、人の移動等の各分野における行動制限の緩和を可能とするため、ワクチン・検査パッケージを導入することが検討されています。

今後、ゴールドステッカーの認証店舗のインセンティブにもなるこの制度の迅速な導入に向け、引き続き関係部局とも連携しながら、しっかりと取り組んでいく。



徳永慎市 プロフィール

昭和41年東成区生まれ。
大阪市立宝栄小学校・東陽中学・府立高津高校を経て、兵庫県立神戸商科大学卒。
平成19年より大阪府議会議員(3期)。現在、自由民主党・無所属 大阪府議会議員団幹事長、自由民主党東成支部長。

徳永慎いち事務所

大阪市東成区神路1-2-10 Tel.06-6976-1313

詳しくは、
ホームページをご覧ください。▶



<http://徳永慎いち.com>

徳永慎いち

検索



<https://www.facebook.com/tokunaga.shinichi>